

第 62 回 東北社会学会大会プログラム

第一日目：2015 年 7 月 18 日（土）

第二日目：2015 年 7 月 19 日（日）

18 日（土）	09:50-	受付	文学研究科棟一階入口
	10:20-	開会の辞	311 教室
	10:30-12:00	ベテラン研究者との対話セッション	311 教室
	12:00-12:50	理事会Ⅰ	510 教室
	12:50-	開会式	文学部第一講義室
	13:00-17:00	課題報告	文学部第一講義室
	17:00-18:00	学会総会Ⅰ	文学部第一講義室
	18:30-20:30	懇親会	Bee Arena Cafe
19 日（日）	10:00-12:00	自由報告Ⅰ	311、315、337、411、511
	12:00-12:50	理事会Ⅱ	510
	13:00-15:00	自由報告Ⅱ	311、315、337、411、511
	15:00-15:20	学会総会Ⅱ	311
	15:20-	閉会の辞	311

※311 から 511 までの教室は文学研究科棟、文学部第一講義室は中講義棟

会員控え室：135 教室（文学研究科棟）

大会事務局：ミーティングルーム（文学研究科棟）

大会参加費 一般・院生：1,000 円

懇親会会費 一般：5,000 円

院生・学生：4,000 円

主催 東北社会学会

担当校・会場 東北大学

第一日目

開会の辞 10:20ー 311 教室 会長 長谷川公一

特別企画：ベテラン研究者との対話セッション 10:30-12:00 311 教室

ゲスト 海野道郎（東北大学名誉教授（文学研究科教授、総長特命教授）・宮城学院女子大学前学長）

主な専門分野：社会意識論・環境社会学・数理社会学

司会 山形大学 阿部晃士

開会式 12:50ー 文学部第一講義室

課題報告「『福島』の現在」 13:00-17:00 文学部第一講義室

(オーガナイザー・司会 福島大学 加藤眞義)

1. 見えざる意思と変わりゆく意思
—原発被災地を取り巻く復興過程の狭間で— 高崎経済大学 佐藤彰彦
2. 「複合災害」の現在と生活秩序の再構成
—福島県南相馬市の事例を通して— 名古屋工業大学 牧野友紀
3. 長期・広域避難とコミュニティへの模索
新潟大学 松井克浩
コメンテーター 岩手県立大学 吉野英岐
福島大学 高橋 準

学会総会 17:00-18:00 文学部第一講義室

懇親会 18:30-20:30 Bee Arena Cafe

第二日目

自由報告 I 10:00-12:00

会員による企画部会 I 「相互行為論に何ができるか」

(オーガナイザー・司会 東北大学 徳川直人) 311 教室

1. 高齢者の役割認識とその意味世界
—仙台市郊外 A 町のサロン活動の事例から— 東北工業大学 木村雅史・
東北大学 大井慈郎・
東北大学 松原 久
2. 慢性疾患の語り—関節リウマチ患者夫婦の生活史— 東北大学 山田 香
3. 協働の場におけるドラマツルギー —浪江町避難者たちの事例から — 東北大学 佐々木加寿

A部会 東日本大震災 (司会 東北大学 長谷川公一) 315 教室

1. 震災復興における住民間の合意形成過程の分析
—岩手県大槌町における防潮堤建設をめぐる— 岩手県立大学 坂口奈央
2. 震災まちづくりにおける官民連携の課題とその考察
—福島県いわき市平豊間地区を事例に— 東北大学 磯崎 匡
3. 被災地での社会調査—調査方法論と問題点— 立教大学 村瀬洋一
4. The Neglected Eastern Thought for Fukushima: Toshihiko Izutsu's
Thought, Abe's Politics of Climate Change and the Question on
Radical Subject in Late Capitalism University of Indonesia Fadlan K
Anam

B部会 農村と食 (司会 東北学院大学 佐久間政広) 337 教室

1. 農産物直売所と女性たち 細谷 昂
2. 雑誌『家の光』に見る農村女性の意識変化
—高度経済成長期における兼業化の進展を背景として— 東北大学 小林博志
3. 食をめぐる社会的近接性に特徴づけられる生産者・消費者関係の
学説史整理 東北大学 中川 恵

C部会 社会階層と教育 (司会 東北学院大学 片瀬一男) 411 教室

1. 学校外教育が中学生の学習意欲に与える影響
—学習効果度に着目して— 東京大学 李 和静
2. 定位家族構造とジェンダーによる教育達成格差の時代的趨勢
—二人親世帯・母子世帯出身者の比較分析— 東京大学 斉藤知洋
3. 世代内移動に対する高等教育中退の影響の検討 東北大学 下瀬川陽・
東北大学 三輪 哲
4. 労働者の自職卑下メカニズムと主観的幸福感
—自職卑下傾向の規定因としての職業評定基準とその交互作用効果— 東北大学・
日本学術振興会 古里由香里

D部会 政治と社会意識 (司会 東北学院大学 神林博史) 511 教室

1. 仙台市議会に対する住民意識 東北大学 茨木 瞬・
東北大学 河村和徳
2. 非常時に人々はなぜ政府を疑うのか
—社会正論としての政府陰謀論の先行要因における計量分析— 立教大学 金 善照・
西江大学 崔 善圭
3. 女性政治家の行動 東北大学 尾野嘉邦
—政治家の性別は政策選択と政治活動に差異をもたらしているか—
4. 不公平感の潜在構造の解明—1995年SSM調査の分析から— 岩手県立大学 金澤悠介

自由報告Ⅱ 13:00—15:00

会員による企画部会Ⅱ「ワークキャンプとは何か?—もう一つの社会運動/ボランティア」

(オーガナイザー・司会 福山市立大学 山口健一) 311 教室

1. 親密性から誘発される公共性—『名づけの力』の観点から— 早稲田大学 西尾雄志
2. 「苦しみの反転地」を築くということ—反理念の社会運動— 名古屋大学 日下 渉
3. ワークキャンプとボランティア—東日本大震災の実践をもとに— 福山市立大学 山口健一

コメンテーター 名古屋大学 伊藤綾香

E部会 医療と福祉 (司会 東北学院大学 菅原真枝) 315 教室

1. 東日本大震災から4年後の精神的健康と社会経済的不安感との関連 立教大学 三澤仁平
2. 看取りの場としてのショートステイ
—地域医療再編下の医療過疎地域での在宅医療・介護の取り組みから— 医療社団法人 相澤 出
爽秋会
3. 1930-50年代アメリカの精神医療におけるアルコール家族研究
—逸脱者への視点及びセクシズムとの関わりでの考察— 東北大学 泉 啓
4. 障害学におけるインペアメント概念と「常識」
—杉野昭博『障害学』の検討を通して— 東北大学 竹内良子

F部会 労働とジェンダー (司会 せんだい男女共同参画財団 遠藤恵子) 337 教室

1. コミュニティ・ユニオンのローカリティとその役割
—全国と東北のコミュニティ・ユニオンの比較から— 東京学芸大学 山口恵子
2. 堤清二—辻井喬 企業経営と文学
「私小説」に読む「日本的経営」の歴史とエトス 広島国際大学 村上智章
3. 就業女性におけるワーク・ライフ・バランスと子どもの出生の関係 東北大学 田中 茜
4. 女性の就労選択要因の検討 東北大学 工藤沙季

G部会 地域・コミュニティ・行政 (司会 東北大学 永井彰) 411 教室

1. 豪雪地域における除雪ボランティア活動と行政支援の現状 弘前学院大学 高橋和幸
2. 社会的理念としての「コミュニティ」はいかに語られたか
—『コミュニティ』報告書のレトリック分析を通じて— 東京大学 渡邊 隼
3. 日本における近代水利権と発電に関する一考察 静岡大学 藤本稔彦
4. 「疑似省庁」経団連—日本の気候変動政策の執行過程の分析— 日本学術振興会 佐藤圭一

H部会 社会理論 (司会 東北大学 小松丈晃) 511 教室

1. マイケル・マンの歴史社会学研究における国家生成論
—一元的社会観の否定と折衷論— 相馬看護専門学校他 上田耕介
2. 芸術の生産を説明する三つの社会学概念の比較
—「アート・ワールド」・「文化生産の界」・「組織・制度」— 大阪市立大学 笹島秀晃
3. シンボリック・メディアのダイナミクス
—システム理論の展開可能性について— 大阪医科大学 高橋顕也
4. グローバル公共社会学の可能性 シンガポール
マネージメント大学 齊藤弘久

学会総会 II 15:00-15:20 311 教室

閉会の辞 15:20- 311 教室 大会委員長 永吉希久子